



星願最  
にい期  
してをの

218





カッ

オオオオオオ

くっ…!



オオッ

先輩!

下がって  
ください!



…皆疲労が  
溜まってる…

この数が  
相手じゃ…







あぁー!

やこしやるやー!

頼んだ!

きゅー



オオオ

宝具...

解放せよ...ッ!

命呪をもつて  
命ずる...!

オオオ

オオオ

オオオ



キョウ









未だに

慣れない  
ことがある







一矢を放つて  
砕けて消えても



ここに戻れば  
元通りなんて



…また  
繋がってらあ



…おかしな  
モンだよなア









まだ皆に  
カオを見せてねえよ

アンタに  
言われると  
照れんな

褒美を  
やろうか？



あ…

ん、  
んッ

構わんだらう

ン

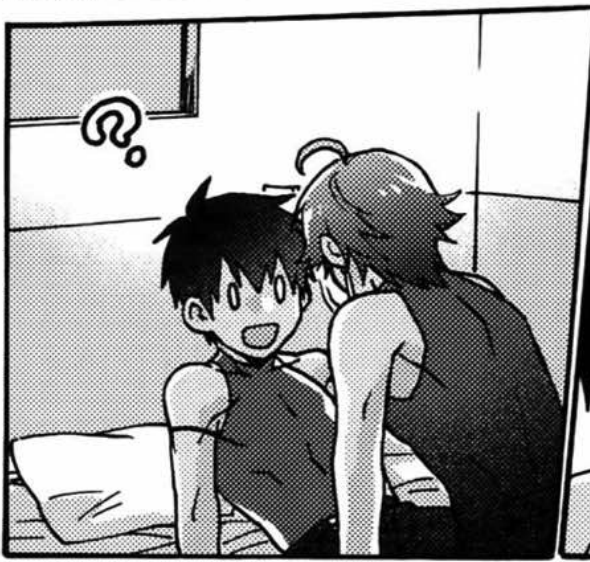


輝きに  
目を細める…

貴様の業…  
この余でさえも

偉大なる  
パルスの英雄よ



















あんだけ  
愛されてのに  
無自覚とは…

王サマも  
怒るわけだわ

ったく

世界救うつっ  
時に痴話喧嘩  
してんなよ

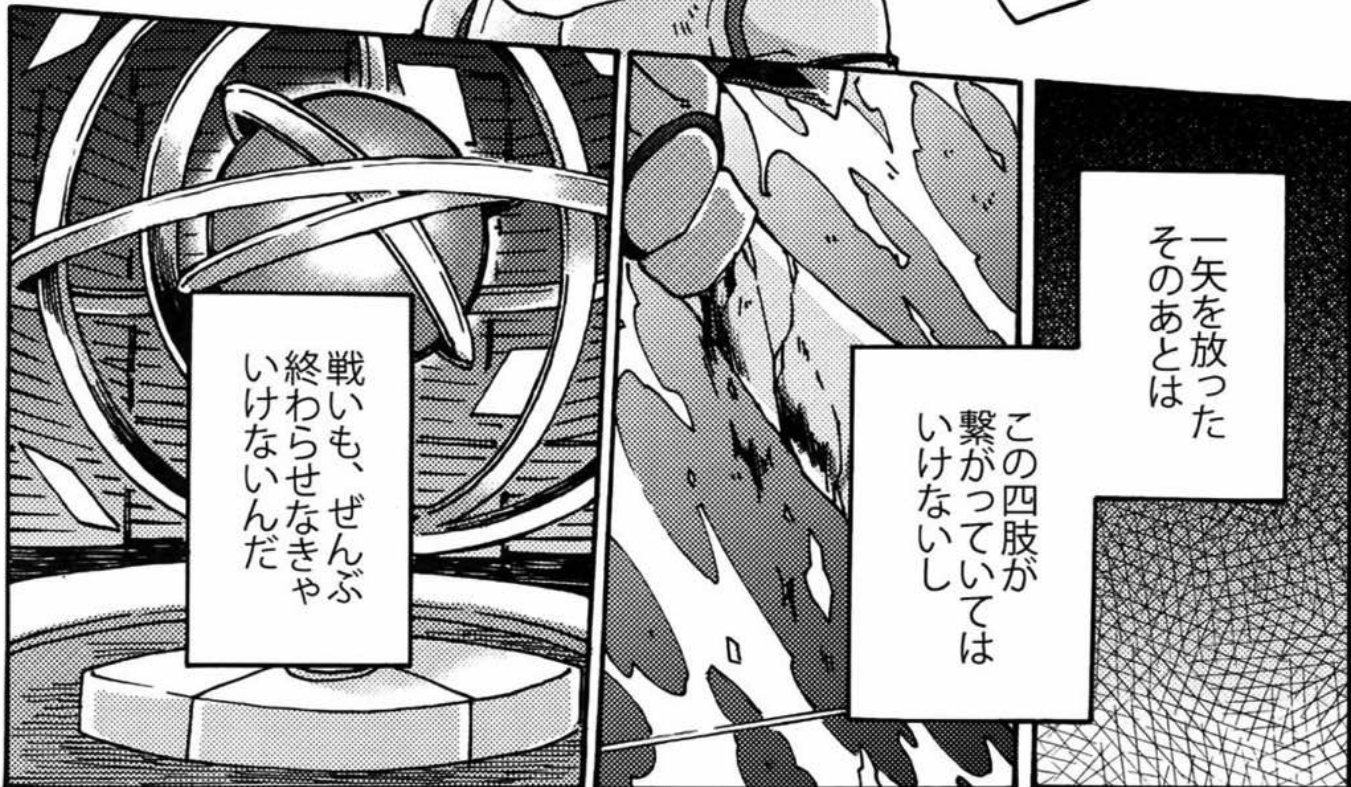


…世界を

救う、か

俺は

「戦いを  
終わらせる  
英霊」だ



一矢を放った  
そのあとは

この四肢が  
繋がっていては  
いけないし

戦いも、ぜんぶ  
終わらせなきゃ  
いけないんだ





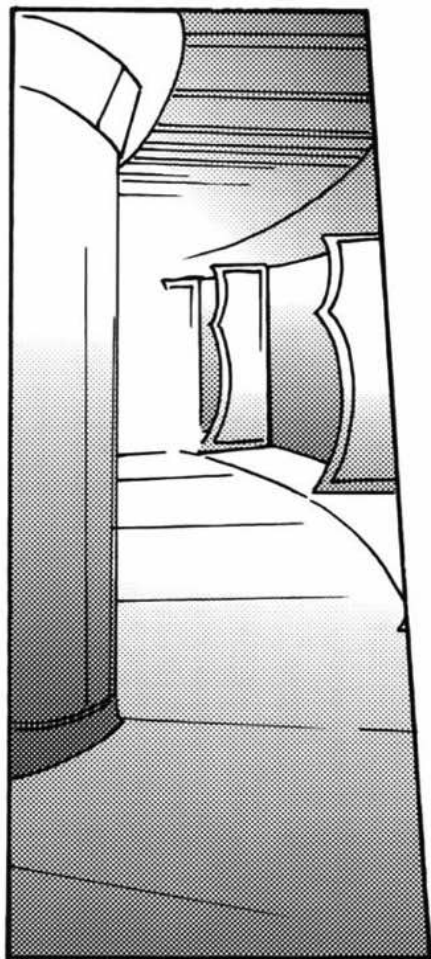
マスターの  
言っとおりだと  
思ってたな

ずっと

ひとり  
で戦って  
きたから

気付いて  
なかった  
だけ

あんたも！  
やめろ







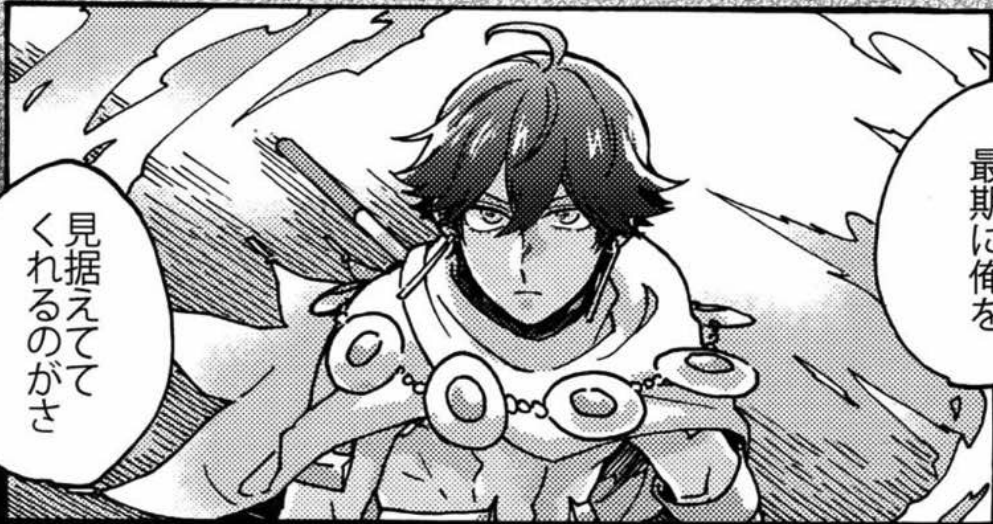


皆もアンタも

とつくに俺を  
認めてくれて  
たんだよな

：ファラオの  
兄さんが…

すみ



最期に俺を

見据えてて  
くれるのがさ



嬉しくて

好きなんだ





太陽の瞳が

俺を照らして  
くれるようで





そして

余も、  
その輝きを



見ていたいと

うつくしい  
とも思えた



不満か？



何度だろうと  
輝き砕けるが良い

余は貴様を  
ここで  
迎えよう







余の寵愛

その身に  
刻みつけよ







んんんん...

う...んッ  
んんッ

ふ...ッ



…殊勝な  
ものだな

良い、  
声を抑えるな



んんんん...

うめ...  
あア

そこおッ...









いやじゃない...

...じゃ  
ない...  
嫌じゃない



は...

にん、ち...

...何だ



は！

は

ッ...



...貴様の四肢

未だ繋がって  
いるではないか



...きもち  
よすぎで...

死んじまう...

はま...



死ぬものか

ッ

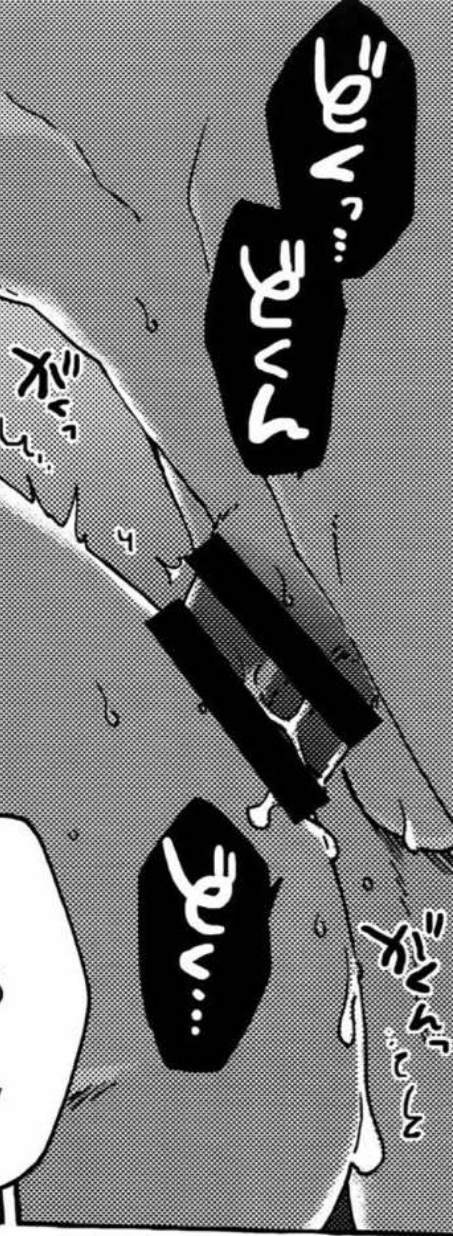




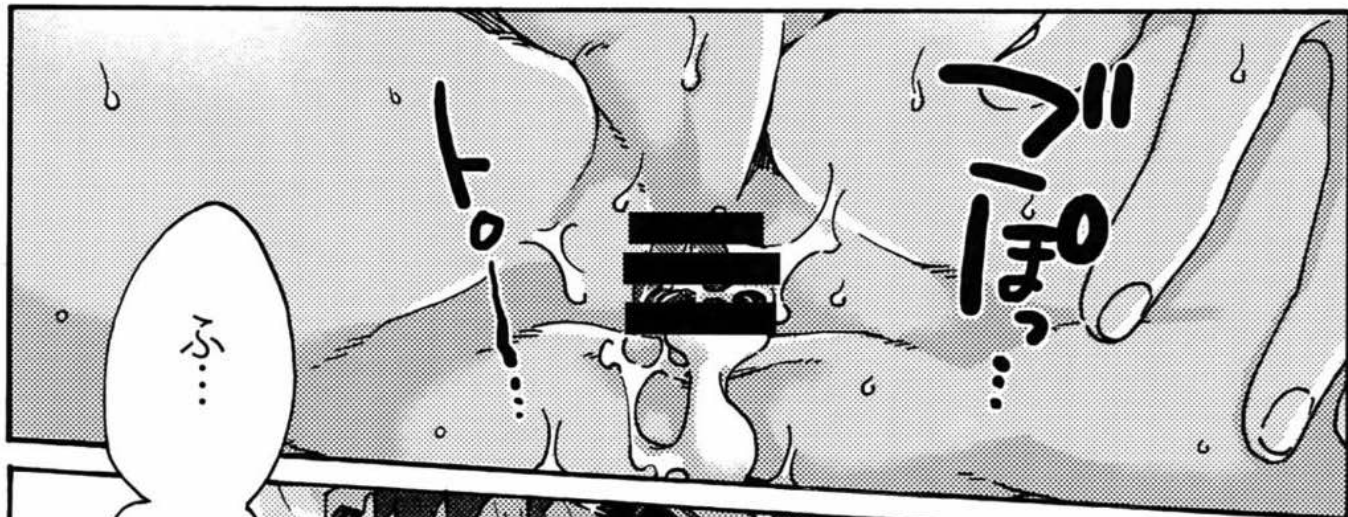


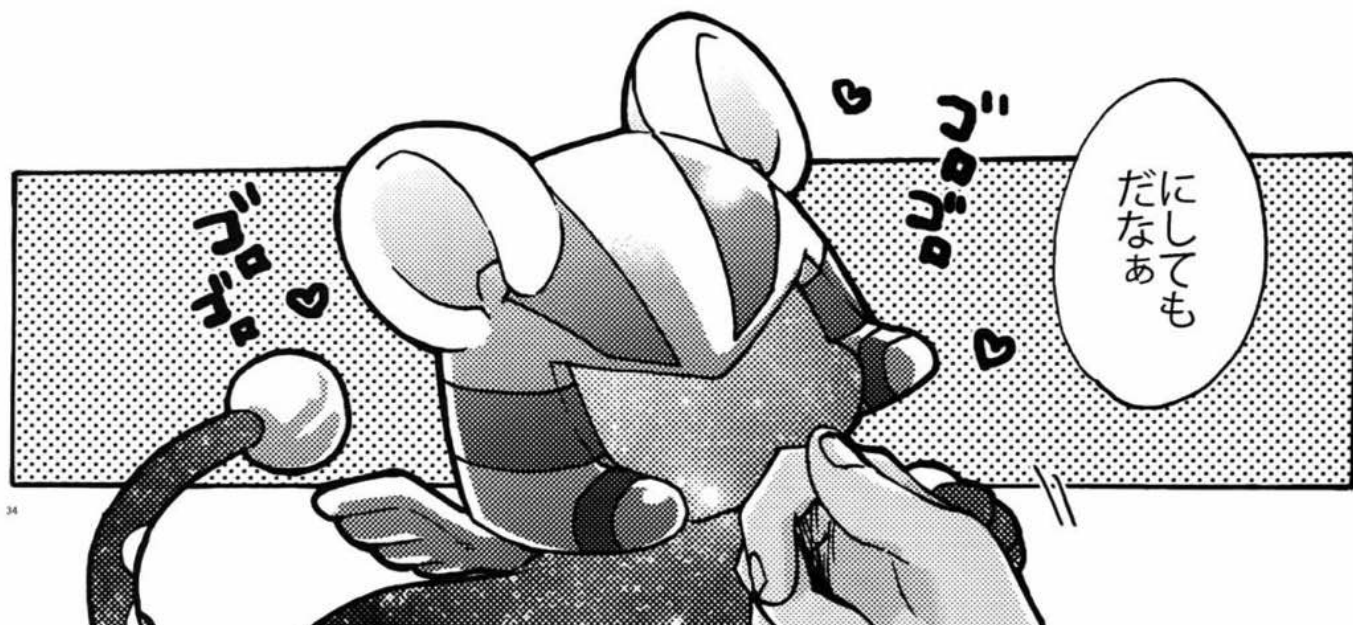
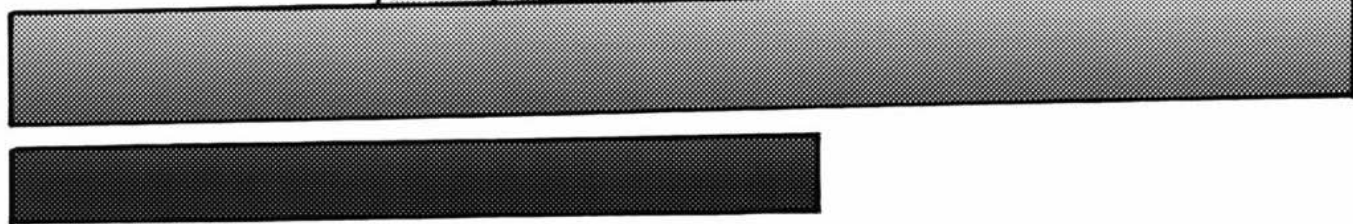
















貴様、  
なかなか見ぬ  
愉快な顔を  
していたぞ

みぎやえ

アンタに無視  
されるのは  
流石にこたえたぜ

ははは

ふむ

面白がるなよ  
なア...



余は孤独を  
好まぬ

...ときに  
勇者よ

王あつての  
民であり

民あつての  
王故、だ





…だが  
貴様が…

孤独の獅子として  
その力を奮う  
のであれば

…ああ

優しいな  
アンタは

それもまた  
良いだろう



そうでもない

ん？…

どわま？！  
しゅん？！

ヒィン

ガッ  
ガッ  
ガッ







早速だが次の  
特異点の話がしたい

…ヤッ！

皆おはよう！

今日は珍しく  
カルデアの外も  
晴れてるみたいだ



急ぎで悪いが  
英霊の皆は  
集合してくれ！

…おっし

行くかア  
兄さん

ああ

留守番  
のうた  
せー

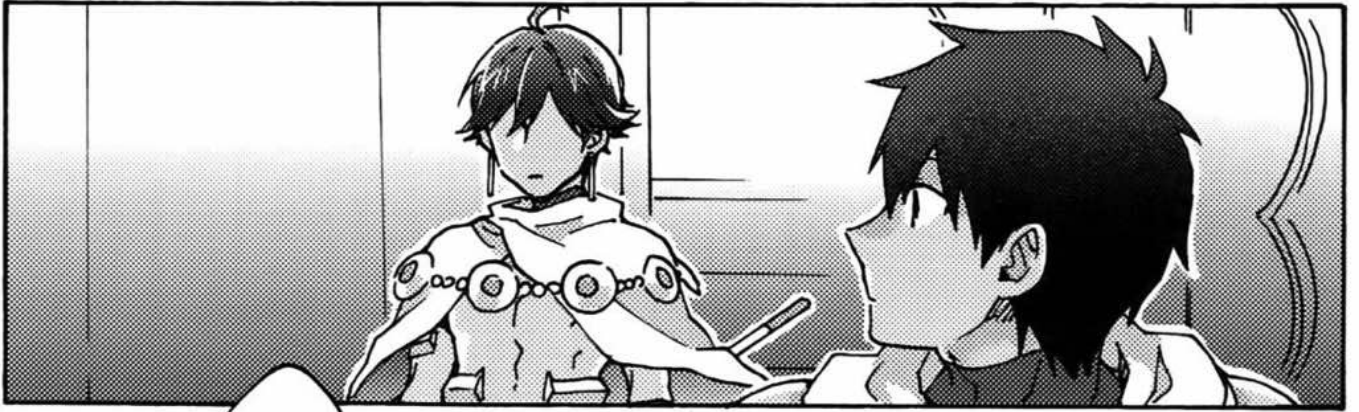


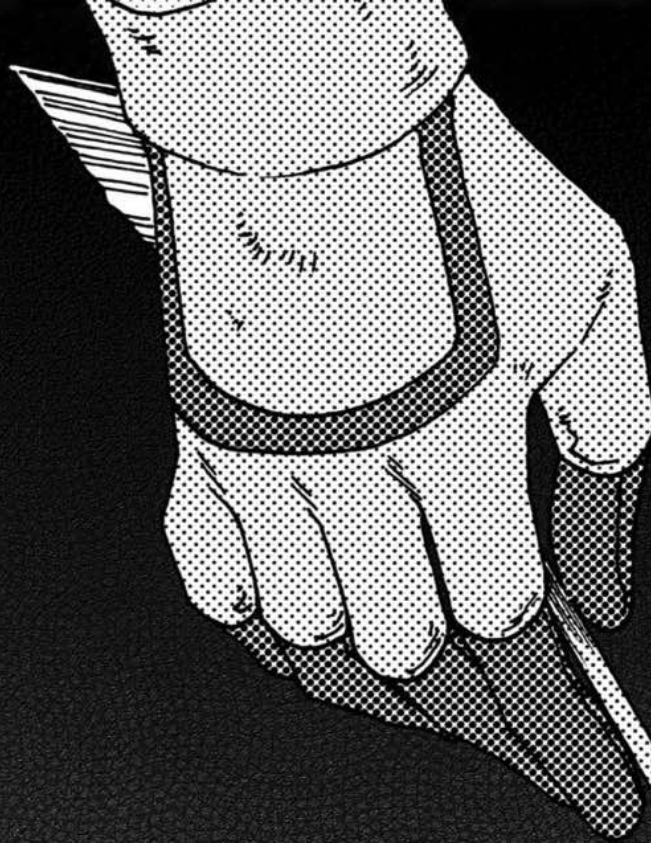
勇者よ

うん？

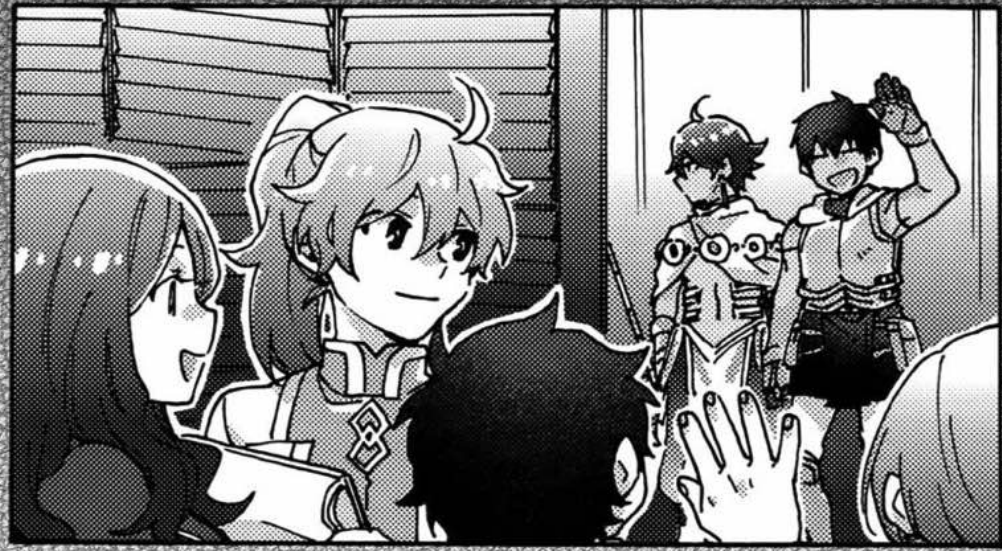
ランニング  
シューズ  
な








夜が明ける








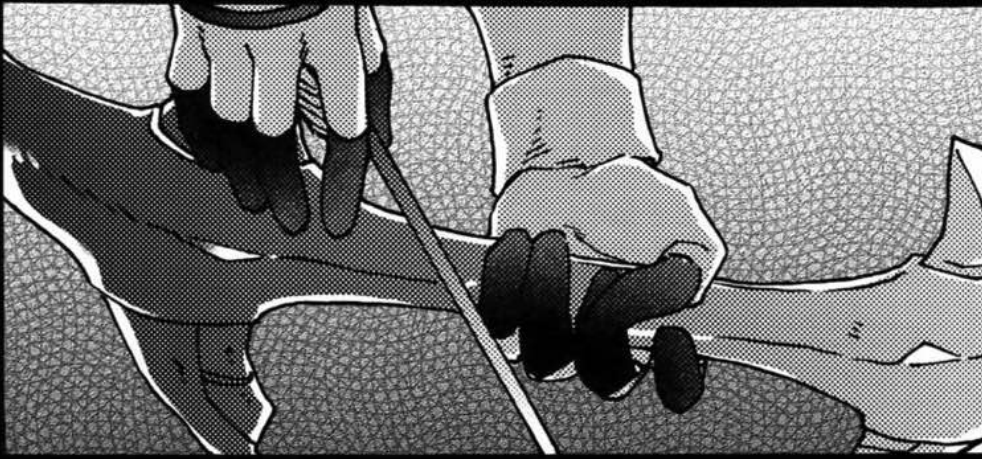
疲弊した  
人々は、兵士は、  
空を見上げ

希望の光を  
待ち望む

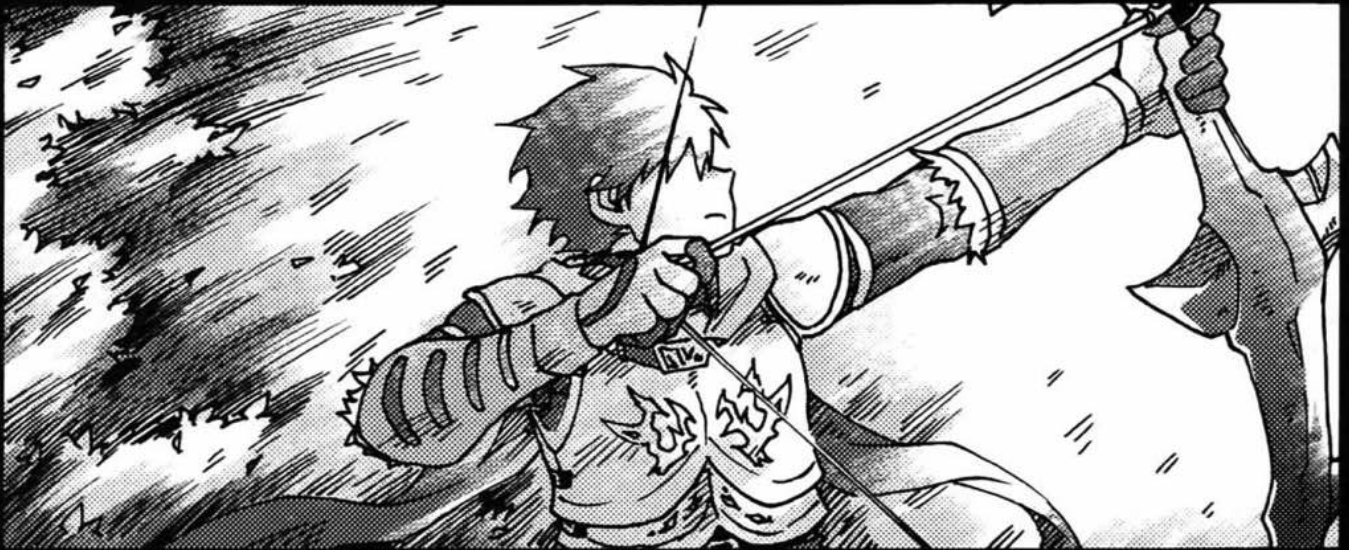
この身は、  
死のあぎとに  
足を踏み入れ



この腕は、  
弓を引き絞る



太陽よ

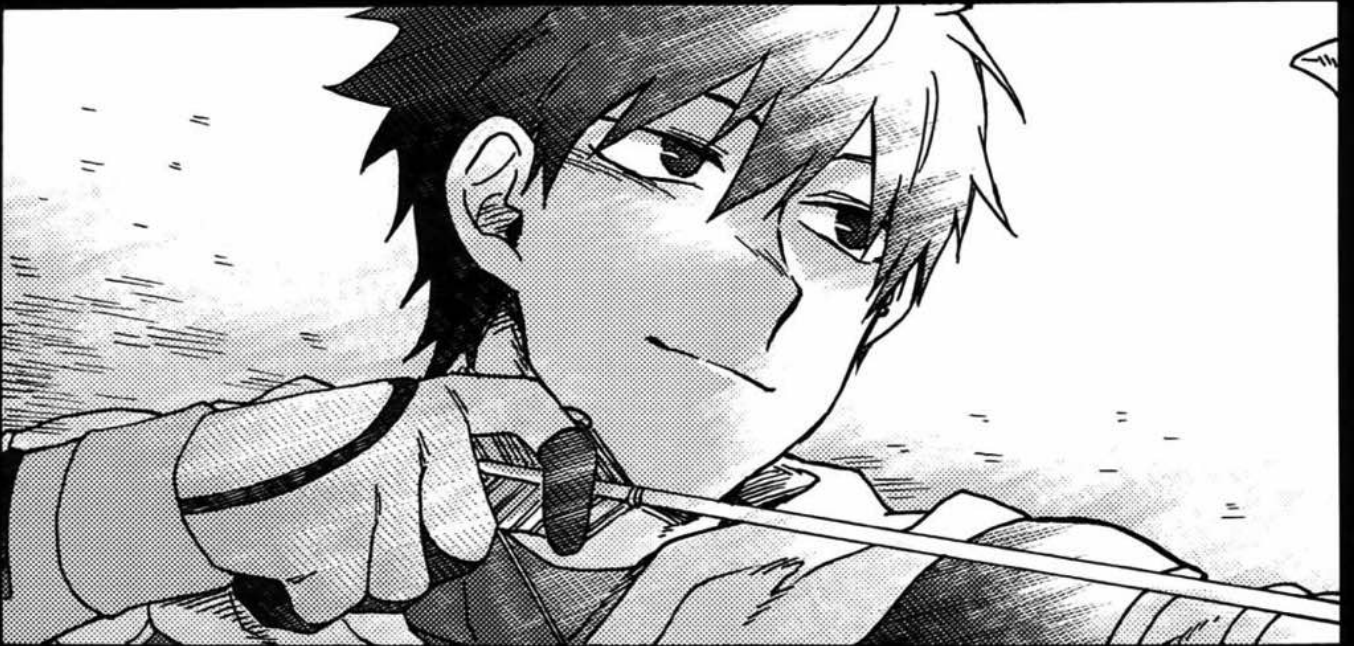


その光が再び  
空にのぼるとき

もう、この俺を  
照らすことは  
無いだろうが



そのあたたかい  
希望の光が



人々を照らして  
くれるように

最期の願いを星にして





FGO unofficial  
Dochakuso homobook  
20171022\*yohanemu  
Ozymandias\*Arash